



素敵です
自分自身に素直に
自分自身に素直に
自分自身に素直に

「フォワードの法則」

見返りを期待しないで自分からエネルギーを与えると、自分自身がフロー(機嫌が良い状態)になって自分の中にエネルギーがわいてくる。これを「フォワードの法則」と言います。
 他者にエネルギーを与えることが、同時に自分自身のエネルギーも生み出すという法則です。
 「与えよ、さらば与えられん」という言葉は、キリスト教徒でなくても聞いたことがあるものです。
 しかし、最初から見返りを期待して与えるのも与えられるのも、何か違和感を覚えます。
 この言葉の本当の意味は、
 「自分の行う行為は、必ず自分に返ってきます。ただし返ってくる時は、形を変え、人を変え、時間差もあり、表面的には気が付にくいものですよ」といった感じでしょうか。そもそも、欲しい欲しい、もっと欲しいと言っている内は、相手次第なので、相手に自分の気持ちをコントロールされているようなものです。相手がくれたら嬉しくて、相手がくれなければ悲しいと・・・しかし、与える人は違います。
 自分がいつも与えようを与えよう、どんなことをしたら喜ぶかな？って思っていたら、自分で自分の気持ちをコントロールできますね♪そこに相手の反応や見返りを求めなければ 形を変え、人を変え、時間差もあることを知っていれば、何も気にすることはありません。堂々と、与え続けていきましょう！
 ただし、欲しがってばかりいる人や、依存状態にある人には、与え方を工夫したほうが良いですね。
 与えるという行為もそうですが、そういう「意識」や「思考」こそが「フォワードの法則」のポイントでしょう。
 自発的に行動する人は、例外なくこの「与える」意識や思考があるのだと思います。気にせず与えていきましょうね♪

エネルギーは与えれば与えるほど、フォワードの法則に基づき増えて行くのです。
 相手が喜んでくれた分、こちらの喜びが減ったと言うことは無いはずですが、相手が幸せを感じた分、こちらの幸せが減ってしまったという事も決して無いでしょう。もちろん、相手が元気になった分、こちらの元気が削り取られたなどと言うことはありません。相手が喜び、幸せを感じ、元気になるように考えれば考えるほど、それはあなた自身にエネルギーを生み出しフローなあなたを自ら作り出して行くことになるのです。
 「自分のために与える」と、今この瞬間から考えて見ませんか！
 (以前当麻町で講演会を聞かせていただいたスラムダンク勝利学著者の辻 秀一氏のブログから引用)



やりたいって気持ち、それがいちばん大事な才能です。
 [エピソード] 中学時代までずっと野球をやってきましたが、高校からまったく別のスポーツを始めようと思って顧問の先生に相談したら、この言葉ももらいました。
 迷っていた自分の背中を押してくれ、先生には感謝しています。神奈川県「湘南っこ」さん(35歳) **どんなことにも、成功や失敗があります。やらされている感覚をもっている人からは、充実感や達成感は生まれません。自分のやりたいという意思をもって、前に進める勇気と決断は素敵です。周りの目にとらわれてばかりいると、本当にやりたい気持ちは遠ざかっていきます。自分の気持ちに素直になりながら、言葉を上手に使いましょう。**